**9. 不定詞（疑問詞+不定詞）How to ~. ～絵合わせゲーム～**

○　目的：タスクを通してhow to ~を使えるようになる。

○　対象：中学３年生

○　文法：How to~

○　準備：絵カード（黒板提示用、絵合わせゲーム用）

**＜タスクの進め方＞**

○　**Pre-Task**

 1. 絵カードを用いて、Taskで用いる動作を”He/she is ~, so he/she knows how to~.”を用いて紹介する。

|  |
| --- |
| （例）T:（絵カードを見せながら）What is he doing? S: He is playing baseball. T: Yes, he is playing baseball. So, do you think he knows the way to play baseball? S: Yes, he is. T: Yes, he knows the way to play baseball. So, he knows how to play baseball. |

2. 黒板に上記のDialog中の”He is playing baseball.” ”So, he knows how to play baseball.”を板書して、how to~の形式と意味を生徒に気づかせる。

3. 全員で” He is playing baseball. So, he knows how to play baseball.”を復唱する。

4. 3の”playing baseball”、”how to play baseball”の部分を他の動作に置き換えて練習する。

○　**Task**

 1. 生徒を４人のグループに分ける。

　2. 絵合わせゲームのデモンストレーションを見せる。（実物のカードを拡大したものを使う）

　　　①絵カードを裏返して並べる。

　　　②カードをめくる順番を決める。

　　　③最初の人がカードを１枚めくり、めくったカードに描かれている動作を”He/she is ~. So, he/she knows how to ~.”を用いて言う。言い終わったらもう１枚カードをめくり、先程と同様の事を行う。

④カードの絵柄が揃ったら、そのカードは揃えた人の物となり、③を続ける。絵柄が揃わなかったら、次の人に交代する。

⑤最終的に持っているカードのペア数が多い人が勝利となる。

3. 実際に生徒たちでやらせ、勝者を決める。

　4. ここまで扱った表現”how to ~”を使って、生徒自身が知っている「～の仕方」を書かせる。

　5. ゲームをしたグループ内でペアを作り、自身の知っている「～の仕方」をお互いに言い合う。この時、聞いた内容をメモする。

　6. ペアを交代し、グループ内の全員と会話をする。　　　　　　　　　　　(Yoshinobu)

|  |  |
| --- | --- |
| C:\Users\Y Matsu\Desktop\aki_0022\aki_0022.wmfPlay tennis | C:\Users\Y Matsu\Desktop\aki_0023\aki_0023.wmfPlay volleyball |
| C:\Users\Y Matsu\Desktop\ensou_10\ensou_10.wmfPlay the piano | C:\Users\Y Matsu\Desktop\foods_0472\foods_0472.wmfCook |
| C:\Users\Y Matsu\Desktop\sports_0007\sports_0007.wmfRide a bicycle | C:\Users\Y Matsu\Desktop\sports_0013\sports_0013.wmfPlay baseball |
| C:\Users\Y Matsu\Desktop\sports_0090\sports_0090.wmfPlay soccer | C:\Users\Y Matsu\Desktop\sports_0027\sports_0027.wmfPlay basketball |